

# ふくしま。GAPチャレンジ宣言！！



日時：平成30年10月3日（水）  
場所：東京大学 弥生講堂

福島県



## 1 認証GAPの取組状況

認証GAPにチャレンジする生産者が大幅増加。  
認証数は86件（H28末比8倍）

さらに、今年度  
60件以上増

現在  
86件  
678ha

【認証件数】 **H28末 10件** (平成30年9月7日現在)

	認証GAP計	(内 訳)			
		GLOBAL G.A.P.	ASIAGAP ※1	JGAP ※2	FGAP
H28	10	3	1	6	—
H29	62	18	3	36	5
現在	86	19	4	51	12

### TOPICS

広大な県土、各地方毎に様々な主体が認証取得！！

一定ロットのある団体認証9団体で取得済み！！

農業短期大学校、農業高校4校で取得済み！！

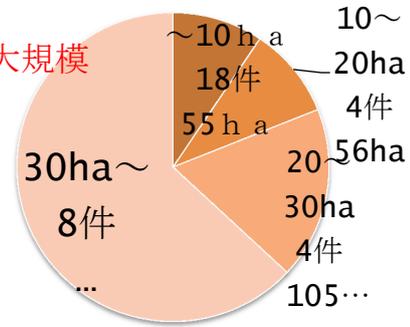
※1 ASIAGAPには、JGAP Advanceを含む。(H29,8月より名称変更のため)

※2 JGAPには、JGAP Basicを含む。(H29,8月より名称変更のため)

認証品目もバラエティ豊か！

品目	認証件数	面積
穀類	34件	533ha
青果物	52件	95ha
計	86件	678ha

穀類は大規模  
が中心



ロット揃います！

青果物はバラエティあり

特にオリパラ時期は産地

全て、GAP認証品あります！

品目	春			夏			秋			冬		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
野												
菜												
果												
実												

この他にも、認証野菜・果物多数！

## GAP認証品を、いろいろ提案できるように！



複数のスーパーでGAPフェア開催

**1 GAPは良い農業を目指し続けます**  
全員で実践・改善し、外部のチェックを受けます

**2 店頭でGAPがわかります**  
認証マークが目印、見える化システムも稼働

**3 「ふくしま。GAPチャレンジ宣言」**  
県をあげてGAP認証取得を進めています

**164アイテム**  
(30.9.18現在)

品名	規格	単位	在庫	備考
...	...	...	...	...

GAP認証品の供給リスト整備

**GAP食材は**

1年で8割↑  
GAPとってま

提供可能なGAP食材(例)

- 米 887t
- トマト 29t
- もも 9t
- なし 6t

平成30年5月時点、更に拡大中!

品目	全量	野菜類	果実類	肉類	魚介類
...	...	...	...	...	...

消費者向け  
チラシ

業務向け  
チラシ

## 2 持続可能性に配慮した取組

自然保護発祥の地、尾瀬

福島県では、GAPに取り組む以前から、『食の安全』・『環境保全』に配慮した取組、農業生産を行ってきた。



### 湖沼群の水環境保全への取組



○猪苗代湖等の水環境保全のため、肥料成分や有機物をほ場外への流出させない営農を実践

### 環境と共生する農業では全国上位

	平成22年度末	全国順位
有機農産物認定事業者数	82名	5位
エコファーマー認定件数	21,889件	1位

### 農業生産でのHACCP導入

H8 O157発生、かいわれ大根が疑われる



かいわれ大根生産衛生管理マニュアル

本県の農家が生産者代表として参加し、1.5ヶ月でマニュアル作成(初のGAP?)

### 様々な技術対策

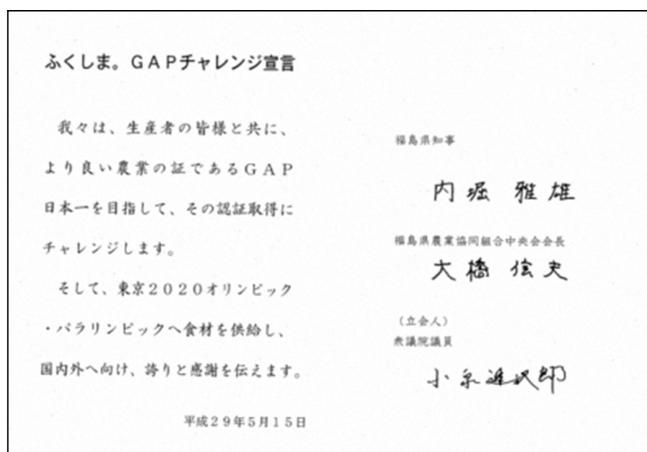
- ・ほ場の土の入れ替え
- ・果樹での樹体高圧洗浄
- ・作土の確保  
(反転耕や深耕等)
- ・カリウムの施肥
- ・基準値以下の飼料や原木の使用
- ・倒伏等の防止
- ・交差汚染防止



5

## 3 ふくしま。GAPチャレンジ宣言！

風評払拭に向け、安全・安心な農業生産を行う、より良い農業の証であるGAP日本一を目指すこととし、福島県とJA福島中央会による「ふくしま。GAPチャレンジ宣言」を行った。



「ふくしま。GAPチャレンジ宣言」

右より、齋藤農林水産副大臣（当時）、小泉進次郎衆議院議員、内堀知事、大橋JA福島中央会会長、長沢復興副大臣（当時）、

宣言に込めた  
思い

震災と原発事故で傷ついた生産者のプライドを、認証取得のプロセスを通して、新しい誇りとして創り上げたい。オリパラ調達基準をクリアして、福島のおいしい食材を食べていただくことにより、震災以降の国内外からの応援に対する感謝の気持ちを伝えたい。

そして、真摯に  
農業に向き合う  
福島を見て欲しい。

6

ふくしま。GAPチャレンジ宣言は、県内外に届いた！  
 県を挙げてGAPチャレンジ中！！

## 認証取得者

- GAP宣言に共感
- 先駆者として積極的に普及啓発
- 「GAP認証取得して良かった」と発言



県政広報番組の取材

## 生産者

- GAPを必要な取組と認識
- 研修会には毎回多くの生産者が参加
- 多くの生産者がチャレンジ開始



研修会には数多くの参加者

## 農業団体等

- 各JAでGAP特別決議、団体認証に着手
- 法人協会等多くの関係組織でもGAP推進
- 小売業者等からもGAP問合せ



団体認証も見据えた研修会

## 関係団体等

- 全国のコンサル会社、シンクタンク等から幅広く支援
- マスコミ、業界紙等様々なメディアで紹介

7

## 4 GAPチャレンジへの支援

GAPチャレンジ初年度は、生産者の理解促進、負担軽減に取り組んできた。

- 宣言によるメッセージ
- JA、県、農業団体で研修会多数開催
- GAP推進月間・推進大会で広く周知



GAPって何？



- 団体認証で負担軽減
- 審査費用等必要な経費への補助
- 分かり易い資料で不安と負担低減

負担は？費用もかかるの？

- GAP指導員JA577名、県184名育成
- 現地研修、模擬審査
- コンサル、JA、県が連携した個別支援



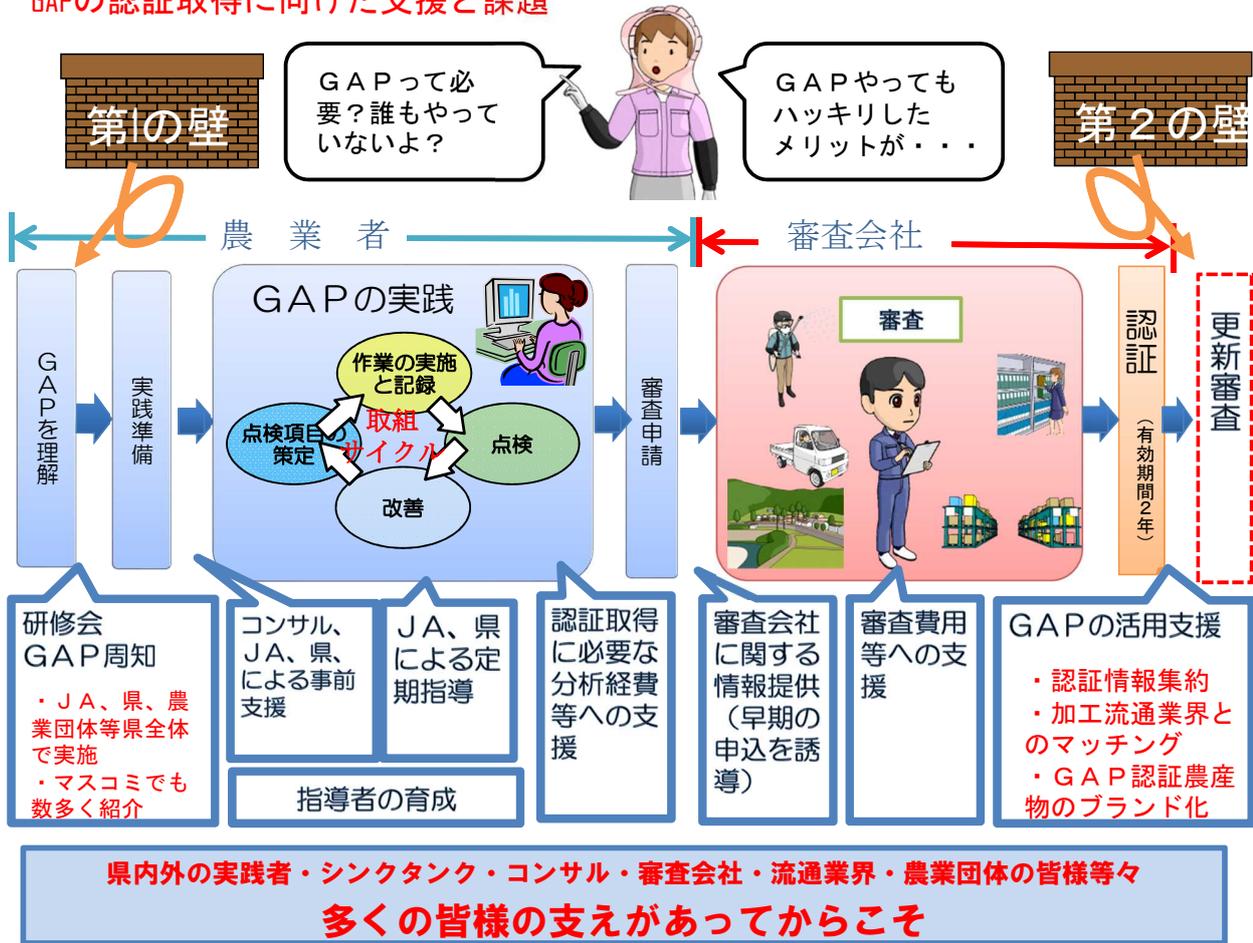
一人じゃ心配

私の経営にあったGAPって？

- 推進対象者を明確化
- 各GAPコンサル等からきめ細かな支援
- 選択肢を増やすためFGAP創設



## GAPの認証取得に向けた支援と課題



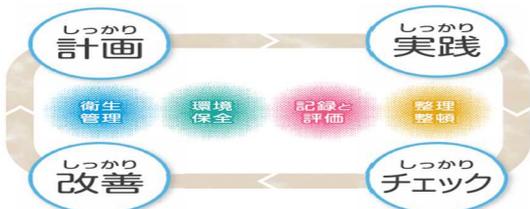
## 5 現在、チャレンジ中



## 消費者・実需者の理解促進

GAPのこと、もっともっと  
知っていただきたい

そもそもGAPって何？一言で言うと？

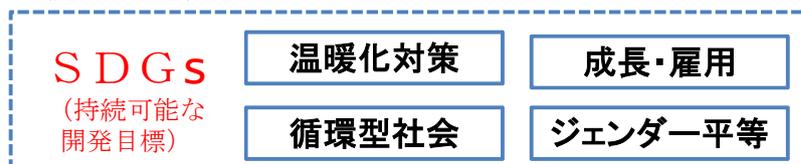


お客様へ、  
一言で言う  
と？



安全と品質の  
太鼓判

持続可能な農業生産



SDGsに繋がる

信頼を繋いで競争力強化



迫るHACCP義務化



信頼のフード  
チェーンの源泉  
であること

風評を経験しているからわかる  
一部の努力では伝わらない！！

全国での取組が必須

# GAP普及大賞特別賞を契機 に

# これからもGAPチャレンジ を力強く進めてまいります。



七転八起

**<特別賞（GAP 普及大賞 2018）>**  
**福島県・福島県農業協同組合中央会が受賞！**  
**「県をあげた GAP へのチャレンジによる復興への取組」が**  
**評価されました。**

一般財団法人日本 GAP 協会（代表理事専務：松井俊一）は、GAP 普及大賞 2018 の選考委員会を開催し、3 つの GAP 普及の優良事例を表彰することを決定しましたので、ご報告致します。

**■特別賞 受賞事例：福島県・福島県農業協同組合中央会**

福島県の農産物の安全と安心への信頼を確保し、震災による風評の払拭を図るため、福島県と福島県農業協同組合中央会が「ふくしま。GAP チャレンジ宣言」を行い、GAP 認証の推進をはじめとする GAP を活用した復興への取組を進めていることが、GAP 普及の好事例として高く評価されました。

「ふくしま。GAP チャレンジ宣言」により GAP 日本一を目指す取組は平成 29 年度から開始されました。その取組体制や主な活動の内容は、（1）宣言には農業者、関係団体を始め、食に関わる多くの人々が共感し、県をあげて GAP の普及に取り組むこと、（2）普及指導員、JA 営農指導員、教員などのべ 761 名を GAP 指導員や内部監査員として新たに育成したほか、法人での実践者を GAP 推進員として招き指導ノウハウ蓄積に努めたこと、（3）イオン(株)や、(株)ヨークベニマルなどの流通業者等との連携を深め、福島県内で消費者への GAP の認知度の向上を図ったことなど多岐にわたっています。

これらの活動を通じ、福島県内での GAP 認証者は平成 28 年度末から約 1 年間で約 7 倍の 77 件まで増加し、全国でも上位の認証数となっています。さらに農業高校や農業短大への推進も行っています。このように県をあげて GAP を活用して震災からの復興を目指す取組は、GAP 普及の体制づくりの模範になるものであり、特別賞にふさわしいものと高く評価されました。

-----

GAP 普及大賞は、一般財団法人日本 GAP 協会が主催する、今年一年間で最も GAP の普及に貢献した取り組み事例を表彰するものです。GAP 普及大賞 2018 の選考委員は次の通りです。

岩元明久（日本農業普及学会 副会長）、小池 甲（新潟県三条地域振興局農業振興部企画振興課 主査普及指導員）、田口光弘（農研機構中央農業研究センター農業経営研究領域 主任研究員）

この福島県・福島県農業協同組合中央会の取組に加え、下記の 2 事例が同時に受賞しました。いずれも甲乙付け難い GAP 普及の優良事例です。

- －GAP 普及大賞－ <受賞者>京丸園株式会社
- －GAP 普及大賞－ <受賞者>豊田肥料株式会社

以上の 3 受賞事例について、下記のシンポジウム内で表彰式と受賞者による記念講演が行われます。ぜひご来場下さい。

**■シンポジウム「GAP Japan 2018」**

- ・日時：2018年10月3日（水） 13時から17時30分
- ・場所：東京大学 弥生講堂（東京都文京区弥生 1-1-1）
- ・関連ホームページ：<https://2018.jgap.asia/> ※参加申込を受付中です
- ・問合せ先：荻野（おぎの）TEL 03-5215-1112 FAX 03-5215-1113 E-mail: [info@jgap.jp](mailto:info@jgap.jp)